

(地 317)

令和 2 年 9 月 2 5 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

松 本 吉 郎



厚生労働省委託事業

「小児在宅医療に関する人材養成講習会」グループワークについて

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、10月29日（木）14時より開催の標記講習会グループワークにつきましては、7月17日付（地 217）の文書をもって、テレビ会議システムの利用についてご協力をお願いしましたところ、ご快諾いただき、心より感謝申し上げます。

当日の次第をお送りいたします。受講者には、来週月曜以降に、講習会テキストとともに送付されると聞いております。

各都道府県医師会におかれましては、大変お手数ですが、都道府県行政に対して、当日のグループワークの会場（会議室）についてお知らせいただくとともに、参加人数等のご確認をよろしくお願い申し上げます。

なお、テレビ会議システムの招待メールは、事前にご登録いただいた担当者宛に追ってご連絡いたします。

引き続き、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和2年度厚生労働省委託事業「在宅医療関連講師人材養成事業（小児在宅医療分野）」
「小児在宅医療に関する人材養成講習会」のグループワークについて

国立成育医療研究センター総合診療部 窪田 満
(本事業実務責任者)

日時：令和2年10月29日（木）14：00～17：00

場所：日本医師会と各都道府県医師会を繋ぐテレビ会議システムでのLIVE配信

テーマ：ウィズコロナ時代の小児在宅医療

- 1) 地域（東京都と地方都市）において生じた問題点（宮田先生、岩本先生） 15分×2
- 2) 学校と病院で生じた問題点（三浦先生、中村先生） 15分×2
- 3) グループワークを1時間半程行っていただく 80分
- 4) 各都道府県からの結果共有、質問コーナー、まとめ 40分

各都道府県で話し合ってくださいの内容

- ✓ 新型コロナウイルスを意識して小児在宅医療を行うには何をすればいいのか
感染対策だけではない
病院、クリニック（在宅医含む）、行政の情報共有をどうするか（web会議？）
IT機器をどのように導入していくか（連携のためがメイン、特に行政での利用）
緊急時受け入れ先がコロナ院内クラスターで受け入れ不能の場合にどうする？
成人期になった医療的ケア児にどう対応するのか
- ✓ 医療と学校の連携（普通の学校も）
学校閉鎖時の医療的ケア児への支援
学校再開後の医療的ケア児への支援（感染対策も含む）
- ✓ 親が感染した場合の濃厚接触者の小児在宅患者にどう対応するのか
引き受ける医療機関はあるのか
過度に親に依存した日頃のケアの問題が浮き彫り
逆に父がいること、ITでの医療がポジティブに作用
- ✓ 各施設のサポート、サービスの役割分担はどうか
感染のクラスターになりやすい医療機関への不安
感染を恐れて訪問を家族から断られたときの対応はどうすればいいのか
身近な小さな施設の役割、総合的な大きな施設の役割
- ✓ この状況で自然災害にあった場合に、3密を避けてどのように避難するのか
避難所をどうするか
どのように小児在宅患者を把握するのか